



2019年11月 尚徳福祉会 末長こぐま保育園

元気いっぱい、うさぎ組！

やっと秋らしい風が吹くようになり、涼しい日が増えてきました。楽しみにしていたお芋掘りも終わりました。初めての長い距離でしたが、きりん組のなかよしグループのお友だちと手を繋いで、笑顔で歩くことができました。

お芋を掘ることは、土に触るのが苦手な子どもがいたりしましたが、「お芋、あったよ！」と掘ったお芋を嬉しそうに見せてくれてにっこり。

お昼はお弁当に大興奮！嬉しくて、なかなか手がつけられず、ずっとお弁当に見とれている子が何人もいました。時間を掛けてなんとかお弁当を食べ、おやつもちょっぴり食べての帰り道。今度はきりん組はいないので、うさぎ組と園長先生とで帰りました。「暑いね。」「疲れた。」と言いながらも、ゆっくり歩き、保育園が近づいてくると、「もうすぐ末長こぐま保育園に着くよ。」と子ども同士で励まし合い、やっと保育園に到着しました。子ども達にとっては、ちょっとした大冒険をした気分だったのでしょう。お昼寝の時にも、楽しかったことを話していてなかなか寝付けませんでした。

秋になって、お散歩に行く機会も少しずつ増えてきました。最近では、ほんの少しの距離の散歩だと物足りず…。この前は、きりん組と一緒に、ふれあいの森まで行ってきました。雨上がりのふれあいの森を、上から下まで走り回り、帰り道も長い距離をすたすた歩いて帰ってくる事が出来ました。

体力がついたうさぎ組。これからもっと、色々な場所に探検に行きたいと思います。

1番1番っていうけれど・・・



子どもって1番が大好きですね。外へ行くとき、ホールへ移動するとき声を掛けると、我先にと駆け足で保育士の前に来たり、ドアのところに並んでいたりします。私たちも、それを避けるためにグループごとの移動にしたり、一人ずつ名前を呼んだりしてはいたりしていますが…。

少しでも前に行こうと、椅子を中に入れずに走ってならんだり、並んでいるお友だちの間に入ってしまったりと“1番になりたい病”にかかり、競い合う姿が見られるようになりました。そんな時には、「日々の保育の中で、どれだけ認めて(受け入れて・褒めて)あげていたかな…」と思い返すようにしています。できることがあたりまえになってしまうと、もっと上を求めてしまいがちになり、子どもたちもやっけて楽しくなくなることが増えてしまいます。着替えなどで、つい「今日は早かったね。」と早いことをこちらが褒めてしまっていることも多く、「待てていなかったな。」と反省する日々です。確かに一番になることは嬉しいけれど、一番ではない所でその子自身の行動を褒めていくことができると「私は私」「僕は僕」と自信が生まれる…そう信じながら、たくさん認める機会を作っていこうと思います。



これからの予定

- 8(金) 英語で遊ぼう
- 12(火) たてわり
- 21(火) 避難訓練
- 22(金) 英語で遊ぼう
- 26(火) 生活発表会総練習
- 27(水) サッカー教室
- 28(木) 誕生会・たてわり
- 29(水) 健康集会